

## ルダシングワ真美さんに聞く



ルダシングワ真美さん（右）とパートナーのガテラさん（左）

るだしんぐわ まみ  
1963年神奈川県茅ヶ崎市生まれ。  
英語の専門学校卒業後、約6年間特許法律事務所やその他企業に勤務。  
1989年ケニア・ナイロビにあったスワヒリ語学校に半年間留学し、その後東アフリカを旅行中に、現在の公私のパートナーである、足に障害のあるルワンダ人、ガテラ氏と出会い、ルワンダ大虐殺やルワンダの障害者の状況を知り、義肢装具士になることを決意、1992年より横浜の義肢製作所に弟子入り、約5年間の修行後、義肢装具士の国家資格を取得。  
1995年大虐殺後のルワンダを調査し、1996年ガテラ氏と共に「ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト」を設立、翌年から首都キガリ市に義肢製作所を設け、義肢装具の製作、義肢装具士の育成、障害者スポーツの普及・障害者に対する職業訓練などの活動を始め、現在に至る。

聞き手

菅間正道（自由の森学園高校・校長）

義足をつくる  
活動から見える世界

ルワンダ大虐殺から三〇年

## ●ふとしたきっかけでアフリカへ

**菅間** 今日は、アフリカ・ルワンダとオンラインでつないでのインタビューです。現在、日本時間で一〇月三日の一七時。昨日、東京は三一度の真夏日でした。連日猛暑について過去最高を記録する天気ニュースが続いています。今日は二五度で少し涼しいかな、という感じですが、明日はまた三〇度以上の気温になるとのこと。真美さん、そちらルワンダ、首都キガリの今日の天気と気温はどんな感じですか。

**真美** 日本との時差は七時間なのでこちらは午前一時、気温は二一度です。天気は、雨が降りそうな空模様ですね。先週の日曜日あたりから雨季に入ったようなので、これからしばらく、二、三カ月ぐらいはこんな感じが続くのかな。湿度はなくて、雨のせいか気温もだいぶ下がったようです。

**菅間** 真美さんは、今年二〇二四年六月六日（木）、自由の森学園での寮生対象の夜の学習プログラム「よる講」に来てくださり、大変貴重なお話を生徒たちにしていただきました。その節は本当にありがとうございます。

した。

一言だけこの企画について説明すると、今年の一月から、私の発案・主宰で始めました。タイトルの「よる講」の含意は、「夜の講座」「（人が気軽に）寄る講座」「〇〇さんによる講座」の三つの意で名づけました。およそひと月に一回実施していますが、第四回目に真美さんに来ていただきました。卒業生のルートで偶然にもご縁が生まれて、来日の多忙なスケジュールの間隙を縫って実現した企画でした。

この期間の真美さんたちの動静については、「手足失ったルワンダ人に義肢 二七年間無償提供 夫ガテラさんとルダシングワ真美さん」という見出しで報道もされました（東京新聞オンライン八月四日）。「よる講」に加した三〇名弱の寮生たちは、みんな真剣に真美さんの話に耳を傾けていました。講演翌日に「本当の勉強をされていきますね」と嬉しいメールをいただきましたが、改めて当日の真美さんの感想を伺ってよろしいでしょうか。

**真美** 今までも大学はじめ、学校で授業の一コマをいただいて話す機会というのは多かったです。あの夜は自由参加で、来たい人が来るという。それであれだけの生徒さんが来てくれたっていうのはすごいなあと。私は